

合併症を伴う急性期 Stanford B 型大動脈解離用 メジャメントフォーム

患者 ID : _____

施設名 : _____

実施医名 : _____

手術予定日 : _____ / _____ / _____

性別 : 男 女 年齢 : _____

記入日 : _____ / _____ / _____

ケースプランニング

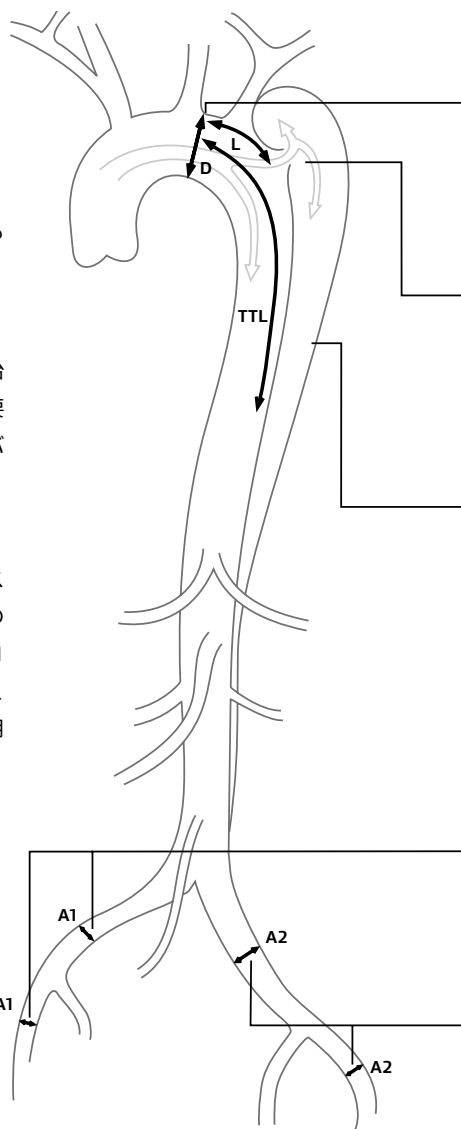
デバイスセレクション

(別紙デバイスセレクションフォームを参照の事)

1. デバイスの径は中枢側ランディングゾーンのもっとも中枢端の大動脈径 (D) によって決定される。

2. デバイスの長さは総治療長により決定される。総治療長をカバーするために複数のデバイスの留置を必要とする場合、中枢側のデバイスを留置後に同径のデバイスを末梢側に延長すること。

3. 使用するデバイスに応じたイントロデューサースイスを選択する。必要とするイントロデューサースイスの外径が最小アクセス血管径 (A1 (右) もしくは A2 (左)) より太い場合、あるいは顕著な石灰化、血栓、屈曲、解離等が存在する場合には、コンデュイットの使用を考慮すること。



径
(D) mm

テーブルポジション

中枢側ランディングゾーンの中枢端の径
ランディングゾーン中枢端には解離がないこと。

長さ
(L) cm

テーブルポジション

主要なエントリー亀裂中枢端からLSA もしくはLCCAまでの長さ (大彎側を計測)

- L: 2 cm 以上であること。
- 解離部及び解離のない大動脈を含む場合もある。

(TTL) cm

テーブルポジション

LSA もしくはLCCAからの真腔の外側湾曲部に沿った総治療長 (大彎側を計測)

- デバイスは主要なエントリー亀裂から少なくとも 10 cm 末梢側まで留置すること。
- デバイス末梢端が下行大動脈の直線部にいくこと。
- 偽腔の破裂を伴う患者の場合、長い領域に亘る留置を考慮すること。

(A1) mm

テーブルポジション

アクセス血管最小径 (右)
(大腿動脈、外腸骨動脈、総腸骨動脈)

解離、屈曲、石灰化、血栓の評価

(A2) mm

テーブルポジション

アクセス血管最小径 (左)
(大腿動脈、外腸骨動脈、総腸骨動脈)

解離、屈曲、石灰化、血栓の評価

Notes

販売名 : ゴア®CTAG 胸部大動脈ステントグラフトシステム 承認番号 : 22500BZX00427000

ゴア、GORE、アクティブコントロール、ACTIVE CONTROL、TAG および記載のデザイン (ロゴ) は、W. L. Gore & Associates の商標です。

© 2022 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 22624667-JA AUGUST 2022

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 **日本ゴア合同会社**
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 gore.co.jp